▼著者・共著者

田村 崚（国立高専機構小山高専）

干川 尚人（国立高専機構小山高専）

下馬場 朋禄（千葉大学）

伊藤 智義（千葉大学）

-ちゃんぽんアブスト-(オープンデータについてな感じ)

【添削結果】

多地点カメラを用いた見守りサービスにおける第三者のプライバシデータ流出比の定量評価

Quantitative Evaluation of Through Ratio of Invalid Privacy Data in application Using Multipoint Cameras.

Quantitative Evaluation of Transmission Ratio of Unnecessary Privacy Data in Safety and Tracking Application Using Multipoint Cameras.

近年のInternet of Things (IoT) 技術の発展により，センサネットワークによる情報処理サービスは屋内外を問わない広範囲での応用が期待されている．そのような広域センササービスでは無関係な第三者のプライバシデータも収集されることが問題になるが，実際のサービスを想定した第三者データの流出について定量的な評価はできていない．そこで我々は多地点に設置された監視カメラによる広域見守りサービスをユースケースとして，プライバシデータの生成量を算出するシミュレータを開発した．そこにJR松江駅ビル内に設置された人流センサのオープンデータを適用し，駅を利用する学生の登校時間見守りサービスのシミュレーションを実行した．本報告では現実の人流データに基づくプライバシデータの生成量を算出し，その結果から第三者データの流出率について分析した結果を示す．